

No	施策名		R1決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和2年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和3年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード	事務事業の目的		内 直接事業費	1 担当部課名			
事務事業名				R2決算額(円)	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価		
		内 直接事業費		4 有効性評価				
			内 人件費	5 効率性評価				
1	消防・救急体制の充実	火災、救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、本署の施設設備等の維持管理を行う。	14,030,826	事務事業評価		建築から33年経過し老朽化が進んでいるため、施設設備等の点検及び整備を行う。また、不良箇所については早期に修繕を行う必要がある。	・電気設備等の点検業務及び修繕を行い維持管理を行った。 ・車庫内照明器具取替(LED化)、玄関自動ドア、落雷による電気設備の修繕を行い、適正な施設管理を行った。	太陽光発電システムの修繕を行い、ゼロカーボン化の実現に向けて取組む。また、外壁のひび割れがあるため、庁舎全体の劣化を調査し、必要な修繕を実施していく。
	60101010		6,281,962	1 消防本部 消防課				
	本署管理事務		7,748,864	2 浪崎 智彰				
			15,608,791	3 高い				
			7,697,785	4 高い				
7,911,006	5 普通	改善の効果	高い					
2	消防・救急体制の充実	火災、救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、赤羽根分署の施設設備等の維持管理を行う。	14,795,301	事務事業評価		建築から22年経過し老朽化及び塩害による不具合が発生しているため、施設設備等の点検及び整備を行う。また、不良箇所については早期に修繕を行う必要がある。	・電気設備等の点検業務により維持管理を行った。 ・事務室空調、事務室照明器具取替(LED化)等の修繕を行い適正な施設管理を行った。	・定期的な予防保全を実施し、劣化防止や故障等を未然に防ぐ。 ・実施計画以外外壁改修工事設計業務、外壁改修工事を行う。
	60101020		2,902,384	1 消防本部 消防課				
	赤羽根分署管理事務		11,892,917	2 浪崎 智彰				
			17,359,761	3 高い				
			3,964,063	4 高い				
13,395,698	5 普通	改善の効果	高い					
3	消防・救急体制の充実	火災、救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、瀬美分署の施設設備等の維持管理を行う。	13,277,157	事務事業評価		建築から49年経過し老朽化が進んでいるため、施設設備等の点検及び整備を行う。また、不良箇所については早期に修繕を行う必要がある。	・電気設備等の点検業務により維持管理を行った。 ・自家発電装置バッテリー交換を行い、消防活動の拠点としての機能確保と照明器具取替(LED化)、換気扇取替修繕を行い適正な施設管理を行った。	老朽化が進む施設の適切な点検維持管理を行い、「施設の長寿命化」を考慮し必要な修繕等を実施していくことで、消防活動の拠点としての機能を確保する。
	60101030		4,071,931	1 消防本部 消防課				
	瀬美分署管理事務		9,205,226	2 浪崎 智彰				
			15,196,353	3 高い				
			4,135,823	4 高い				
11,060,530	5 普通	改善の効果	高い					
4	消防・救急体制の充実	・消防、救助活動業務の円滑な運営を図る。 ・火災等の災害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、迅速かつ安全的確な活動を実施する。	321,863,948	事務事業評価		・消防力強化のため若手職員の育成を継続しつつ、中堅職員の更なるスキルアップを目指し、消防力全般の底上げを図る。 ・各種訓練を計画的に実施し、災害対応能力の向上を図る。 ・消防活動用資器材の老朽化に伴う更新や適正な維持管理を行う必要がある。	・若手職員教育を計画的に実施し、消防力の維持、向上に努めた。 ・資器材の点検整備を定期的実施し、機能維持に努めた。	・様々な災害等に対応するため、各種訓練を継続し、更なる消防活動技術の習得に努める。 ・資器材の老朽化に伴う機能低下や事故を防ぐため適正な維持管理を実施し、適宜更新計画を見直すことで予算削減に努める。
	60101060		8,281,265	1 消防本部 消防課				
	消防活動事業		313,582,683	2 浪崎 智彰				
			329,607,551	3 極めて高い				
			5,282,965	4 高い				
324,324,586	5 高い	改善の効果	高い					
5	消防・救急体制の充実	東三河共同受信において迅速かつ的確な出動指令を行い、通信室において火災時の同報無線、災害時の無線統制、緊急通報システム受信及び各種連絡を行い各種災害による被害の軽減を図る。	101,740,327	事務事業評価		・東三河消防指令センター及び東三河各消防本部と連絡を取り合い、円滑な通信業務を実施している。 ・通信指令システム機器及び消防救急デジタル無線を維持管理していくため、修繕又は更新する必要がある。	・東三河消防指令センターとの情報交換を密に行い、問題の共有及び早期解決に努め、デジタル無線の円滑な運用が図れた。 ・通信指令システムの世帯主及び目標物データの更新を行った。 ・タブレット端末7台を配備し、通信設備の強化を図った。	・緊急消防通信指令システムの更新計画に基づき、東三河消防指令センター及び東三河各消防本部と緊密な連絡体制を構築する。 ・通信指令システム機器及び消防救急デジタル無線の老朽化に伴う出動指令の遅延や通信障害の防止を図るため、更新計画を作成し適正な維持管理に努める。
	60101070		22,190,248	1 消防本部 消防課				
	通信指令事務		79,550,079	2 浪崎 智彰				
			101,171,222	3 極めて高い				
			23,276,959	4 高い				
77,894,263	5 高い	改善の効果	高い					
6	消防・救急体制の充実	水火災等の災害時に安全・迅速な消防団活動を行うため、装備・資器材の充実、被服等の貸与及び消防団車両の維持管理を実施し、地域防災力の充実強化に努める。	136,210,384	事務事業評価		災害形態の多様化により消防団活動が多岐にわたり、その役割はより大きくなっている。課題として団員の確保が厳しい現状であるが、市民の安心・安全を確保するには、地域に密着した団員の確保は必要不可欠である。	・団員が安全に活動できるよう、被服、資器材等の安全装備品を貸与した。 ・デジタル簡易無線機25台 ・コロナ禍において、活動が制限されるなか、団員や家族に配慮し、訓練方法を検討し感染対策を万全に真に必要な訓練を実施した。	・消防団の装備の基準を踏まえて、安全確保対策、救助用器具、情報通信機器等の装備を更に充実強化し、引続き安全な活動環境づくりを目指す。 ・多様化する消防団の役割に即し活動を見直し、負担軽減を図り、団員の加入促進へとつなげる。
	60101080		119,036,938	1 消防本部 消防課				
	消防団活動事業		17,173,446	2 浪崎 智彰				
			112,163,766	3 極めて高い				
			99,065,409	4 高い				
13,098,357	5 高い	改善の効果	高い					
7	消防・救急体制の充実	災害時の消防団活動を円滑にするため、消防団の活動拠点である詰所車庫の維持管理を実施する。	5,492,131	事務事業評価		市内22か所の詰所車庫を調査し、修繕を実施している。しかし、老朽化が進んでいるため、適切な時期に修繕を行い維持管理を図る必要がある。	・童浦分団、神戸分団1号車、南部分団2号車、赤羽根分団1・2号車詰所車庫の修繕を実施した。 ・中部分団、南部分団2号車、赤羽根分団2・3号車詰所車庫のホース干場ウインチ、ワイヤー修繕を実施した。	施設の劣化度調査を実施し、必要により修繕等を行う。施設の長寿命化を図るとともに、地域の活動拠点としての機能を維持していく。
	60101090		3,589,543	1 消防本部 消防課				
	消防団施設管理事業		1,902,588	2 浪崎 智彰				
			5,119,371	3 極めて高い				
			3,281,217	4 高い				
1,838,154	5 普通	改善の効果	高い					

No	施策名		R1決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和2年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和3年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)	
	事務事業コード	事務事業の目的		内 直接事業費	1 担当部課名				
事務事業名				R2決算額(円)	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価			
		内 直接事業費		4 有効性評価					
				内 人件費	5 効率性評価				
8	消防・救急体制の充実	火災予防啓発活動を積極的に実施し、市民の防火意識の向上を図るとともに火災を早期に発見し、火災による死傷者及び被害の軽減を図る。	29,354,741	事務事業評価		・特定防火対象物の公表制度に該当する重大違反は正は完了しているが、その他の違反については是正を行った。立入検査137件 違反は正1件 ・特定防火対象物に対して立入検査を実施し、実態把握と違反是正を行った。立入検査139件 違反は正4件	改善の効果	高い	
	60101100		999,838	1 消防本部 消防課					
	火災予防推進事業		28,354,903	2 浪崎 智彰					
			33,921,422	3 高い					
			661,046	4 極めて高い					
33,260,376	5 高い								
9	消防・救急体制の充実	・法令に基づき危険物製造所等の許可、認可及び立入検査等を行い、危険物が適正な施設や手続きに沿って取り扱われるよう指導し、危険物に関連する事故等の発生を防ぐことにより市民の安全を確保する。 ・煙火消費許可及び立入検査等を行い、煙火消費が適正に行われるよう指導する。	18,346,643	事務事業評価		・危険物施設に立入検査を行い、安全作業のため適宜指導を行った。立入検査340件 ・法令違反を未然に防ぐため、地下貯蔵タンクの漏えい事故防止対策の期限が迫っている事業者事前に事前周知を行った。4事業所 タンク12基	改善の効果	高い	
	60101110		262,959	1 消防本部 消防課					
	危険物災害防止事業		18,083,684	2 浪崎 智彰					
			16,525,211	3 高い					
			214,687	4 極めて高い					
16,310,524	5 高い								
10	消防・救急体制の充実	・災害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、消防車両及び車両装備品の維持管理を行う。 ・緊急出動の対応が円滑に機能できるように整備を行う。	25,332,470	事務事業評価		緊急車両として安全に使用できるよう万全な車両整備が必要である。今後も法定点検や自主点検を実施し、徹底した維持管理を行う必要がある。	改善の効果	普通	
	60101120		10,580,982	1 消防本部 消防課					
	消防車両等維持管理事務		14,751,488	2 浪崎 智彰					
			26,050,339	3 高い					
			9,167,198	4 高い					
16,883,141	5 普通								
11	消防・救急体制の充実	・水難救助活動の円滑な運営を図る。 ・水上バイクの機動性を活かし、迅速かつ安全的確な活動を実施する。	17,151,326	事務事業評価		・水上バイクの運転資格を取得した。 特殊小型船舶操縦士免許取得2人 ・特別水難救助隊員新規養成を行った。 新規養成隊員3人 ・水難救助活動に必要な資器材を配備した。	改善の効果	極めて高い	
	60101130		3,613,772	1 消防本部 消防課					
	特別水難救助隊活動事業		13,537,554	2 浪崎 智彰					
			15,859,664	3 極めて高い					
			2,344,239	4 高い					
13,515,425	5 高い								
12	消防・救急体制の充実	・防火水槽を改修し、有蓋化を図る。 ・火災による被害を最小限に抑えるため、消防水利として防火水槽の整備推進を図る。	28,093,925	事務事業評価		消防力の一つである防火水槽の整備は消防の責務であり、耐震性を有する二次製品を選択し、老朽化した防火水槽取壊しと併せて市有地への設置を推進する。	防火水槽を改修し、有蓋化及び耐震化を図った。 老朽化した防火水槽3基を取壊し、二次製品防火水槽(有蓋40㎡)1基へ更新した。	改善の効果	高い
	60102010		19,703,820	1 消防本部 消防課					
	防火水槽整備事業		8,390,105	2 浪崎 智彰					
			28,082,935	3 極めて高い					
			18,476,904	4 極めて高い					
9,606,031	5 普通								
13	消防・救急体制の充実	・火災時の迅速な消火活動に備え、既設防火水槽の補修を行い有効水利を確保する。 ・無蓋防火水槽の防護金網を取替え、安全確保に努める。	12,761,032	事務事業評価		消防水利を常時使用できるよう巡視点検を充実させるとともに、安全上の維持管理や環境改善、看板等の管理の徹底を図る。	水利標識、防火水槽用金網交換を実施するとともに老朽化した防火水槽取壊し3基、防火水槽投入口改修3基を実施した。	改善の効果	高い
	60102020		5,669,477	1 消防本部 消防課					
	消防水利維持管理事務		7,091,555	2 浪崎 智彰					
			11,087,412	3 極めて高い					
			5,726,548	4 極めて高い					
5,360,864	5 普通								
14	消防・救急体制の充実	・消防水利として消火栓の適正な配置を考慮し整備を図る。 ・火災時に消火栓が適切に使用できるよう、維持管理・補修を実施する。	25,370,197	事務事業評価		水道事業と連携し、耐震性のある水道管を有効利用し、消防水利の効率的な整備を実施する。	消火栓の新設・移設替え等の整備は、水道事業と協議し、消防水利の基準に基づき適正配置に努めることができた。 消火栓設置工事 新設 2基 補水栓撤去工事 3基	改善の効果	高い
	60102030		18,478,325	1 消防本部 消防課					
	消火栓設置・維持管理事務		6,891,872	2 浪崎 智彰					
			18,051,607	3 極めて高い					
			15,419,030	4 極めて高い					
2,632,577	5 高い								

No	施策名		R1決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和2年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和3年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)	
	事務事業コード	事務事業の目的		内 直接事業費	1 担当部課名				
事務事業名				R2決算額(円)	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価			
		内 直接事業費		4 有効性評価					
		内 人件費		5 効率性評価					
15	消防・救急体制の充実	地域住民の安全・安心を確保するため、機能低下した消防団車両を更新し消防力の向上を図り、火災等の各種災害による被害を軽減する。	22,761,343	事務事業評価		消防団車両の安全な運行を確保し、災害時の円滑な消防団活動を維持するため、車両の耐用年数、老朽化の程度等を考慮し計画的に更新を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・更新年数を経過し老朽化した普通ポンプ車1台(南部分団2号車)を更新した。 ・現有消防ポンプ自動車を運行するためには、準中型免許が必要となった。車両更新に合わせ準中型免許の所持の必要のない小型動力ポンプ付積載車へ変更した。 	更新に際しては、新免許制度への対応を考慮し、地域の特性に合わせた車両改装をするともに、車両積載器材についても震災時に活用できる資器材の導入に配慮する必要がある。また、消防団活動に欠くことのできない車両は、整備する必要性が高いため計画的に更新していく。	
	60102050		19,903,534	1 消防本部 消防課					
	消防団車両整備事業		2,857,809	2 浪崎 智彰					
			13,058,586	3 極めて高い					
			9,937,590	4 極めて高い					
3,120,996	5 高い								
改善の効果		高い							
16	消防・救急体制の充実	地域における消防防災活動の中心的な役割を担う消防団員の活動拠点として、詰所車庫を整備し、活動体制や機能の充実を図る。	12,928,087	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進んでいる詰所車庫の調査を継続して行い、計画的に建設、修繕及び更新を行う必要がある。 	老朽化した東部分団1号車詰所車庫を建設し、拠点施設としての機能を果たした。また、次年度建設予定の伊良湖岬分団1号車の設計業務、地質調査業務を行った。	消防団を取り巻く状況が変化しており、今後の消防団のあり方を考えるとともに、詰所車庫の建設計画も検討が必要。火災対応のみならず、風水害や長期間の活動も視野に入れ、手狭な詰所車庫は更新する。また、建築年数及び劣化度を調査し、修理及び更新により、施設の長寿命化を図っていく。	
	60102090		6,251,080	1 消防本部 消防課					
	消防団施設整備事業		6,677,007	2 浪崎 智彰					
			76,369,432	3 極めて高い					
			65,702,600	4 高い					
10,666,832	5 高い								
改善の効果		高い							
17	消防・救急体制の充実	東三河5市で共同運用している消防緊急通信指令施設のシステム機能の維持管理を行う。	13,220,943	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・東三河5市で共同運用している消防緊急通信指令施設のシステム機能の維持管理を行った。 ・消防緊急通信指令施設及び消防救急デジタル無線設備の全体更新に向けた、東三河5市の取組が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防緊急通信指令施設のシステム機能の維持管理を適切に行い、安定した情報の管理と活用ができた。 ・落雷被害による、消防指令システム復旧工事を行った。 	消防緊急通信指令施設及び消防救急デジタル無線設備の全体更新について、東三河5市で協議し、内容を精査し、適切な時期に実施する。	
	60102100		11,476,596	1 消防本部 消防課					
	消防通信施設整備事業		1,744,347	2 浪崎 智彰					
			16,673,405	3 極めて高い					
			13,852,596	4 高い					
2,820,809	5 高い								
改善の効果		高い							
18	消防・救急体制の充実	救急救命士等を計画的に養成し、気管挿管及び薬剤投与認定救命士も順次養成する。また、心肺停止前の静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖症例へのブドウ糖溶液の投与ができる救命士も養成する。	39,756,049	事務事業評価		救急救命士の管理職への登用等により運用救急救命士の確保が困難になってくるため、毎年1人以上の養成が必要である。また、救急救命士業務の高度化に対応するため薬剤投与認定救急救命士、処置範囲拡大認定救急救命士の養成も必要となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・目標である運用救急救命士30人に到達することができた。 ・包括救急救命士の養成4人 ・気管挿管認定救急救命士の養成1人 ・薬剤投与認定救急救命士の養成1人 	救急救命士業務の高度化に対応するため、継続して薬剤投与認定救急救命士、処置範囲拡大認定救急救命士及び気管挿管認定救急救命士を養成する。また、救急救命士の管理職への登用等により運用救急救命士の確保が困難になってくるため、計画的に救急救命士を養成していく。	
	60103010		3,193,350	1 消防本部 消防課					
	救急救命士等養成教育事業		36,562,699	2 浪崎 智彰					
			36,361,396	3 極めて高い					
			1,527,540	4 極めて高い					
34,833,856	5 高い								
改善の効果		極めて高い							
19	消防・救急体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・救急活動に関する業務の円滑な運営を行う。 ・災害から市民の生命、身体を迅速、安全、的確な活動により保護する。 	262,866,774	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・救命率及び社会復帰率の向上を図るため、チームトレーニングを十分にを行い、現場滞在時間の短縮、質の高い救急活動を行う必要がある。 ・安全で円滑な業務の運営を行うため、感染症対策の強化を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な症例を想定したチームトレーニングを行い、円滑な活動と質の向上を高めることができた。 ・殺菌線ロッカー(4台)を追加購入し感染症対策の強化を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高度化する救急業務に対応するため、資器材の充実及び隊員の育成を図る。 ・救命率の向上を図るため、コンビニエンスストアのAED設置を継続する。 	
	60103020		9,241,026	1 消防本部 消防課					
	救急活動事業		253,625,748	2 浪崎 智彰					
			281,104,634	3 極めて高い					
			14,719,900	4 極めて高い					
266,384,734	5 高い								
改善の効果		高い							
20	消防・救急体制の充実	救命講習(AED講習を含む)を実施し、市民等への応急手当の普及啓発に努め救命率を高める。	17,255,250	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・救命率の向上には、救急隊到着前のバイスタンダーによる救命手当が重要であり、地域、企業等でAED設置整備が進む中、救命講習の受講者数を増やしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響により多くの救命講習会が中止となったが、感染症対策を徹底し、受講者数と指導者数の制限ができたものについては講習会を開催することができた。 ・救命講習受講者数251人 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を踏まえた会場づくりが必要であるため、指導者数、受講者数、レッスンプランなどの見直しを図る。 ・見て覚える教材DVDの感染症対策用を作成する。 	
	60103040		1,011,491	1 消防本部 消防課					
	救命講習推進事業		16,243,759	2 浪崎 智彰					
			2,700,701	3 極めて高い					
			606,538	4 高い					
2,094,163	5 高い								
改善の効果		普通							
21	消防・救急体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・災害から市民の生命及び身体を保護するため、救急車両及び装備品の維持管理を行う。 ・緊急出動の対応が円滑に機能できるように整備を行う。 	15,212,835	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・緊急車両として安全性が求められるため、万全な車両の整備が必要である。 ・継続的に法定点検及び自主点検を行い徹底した維持管理を行う必要がある。 ・感染症対策の強化を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法定点検及び自主点検の徹底を継続し、緊急車両として維持管理を行った。 ・運転席と患者室の間に隔離壁を設け感染症対策を図り、安全な車両運行を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法定点検及び自主点検の徹底を継続し、緊急車両として維持管理を行う。 	
	60103050		2,963,245	1 消防本部 消防課					
	救急車両等維持管理事務		12,249,590	2 浪崎 智彰					
			18,338,689	3 極めて高い					
			4,418,486	4 高い					
13,920,203	5 普通								
改善の効果		高い							

No	施策名		R1決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和2年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和3年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)	
	事務事業コード	事務事業の目的		内 直接事業費	1 担当部課名				
事務事業名				R2決算額(円)	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価			
		内 直接事業費		4 有効性評価					
				内 人件費	5 効率性評価				
22	防災・減災体制の充実	地震・津波、風水害等による自然災害からの被害を最小限に抑えるため、自治会等を中心に自主的に組織された自主防災会の活動及び防災資機材等の整備を支援する。	21,478,978	事務事業評価		・奨励金、補助金により自主防災活動の支援を実施。 ・自主防災活動推進地区を毎年2地区指定して自主防災活動の重点支援を実施しているが、地域防災力のさらなる向上に向け、継続実施の必要がある。	大草、中山地区で推進地区活動重点支援を実施。防災上の課題を検討し、地域防災力の向上及び地域住民の意識高揚を図ることができた。	・推進地区活動重点支援の取組は、令和8年度で各コミュニティ協議会が2回通り実施を終える予定であるが、発生が危惧されている震災に対応するため、さらなる地域防災力の向上に向け取組の充実を図る。	
	60201010		12,809,580	1 防災局 防災対策課					
	8,669,398		2 石原 恭次						
	21,131,614		3 極めて高い						
	11,279,421		4 高い						
		9,852,193	5 高い	改善の効果	高い				
23	防災・減災体制の充実	各種訓練の実施、講習会・講演会等の開催を通して、市民へ地震や津波、その他自然災害への防災・減災意識の高揚を図る。	20,770,500	事務事業評価		・防災訓練、防災カレッジ、ほーもん講座、子ども防災教室等を実施。 ・事前の備えとして、継続的な防災・減災意識の高揚を図る必要がある。	・防災訓練、防災カレッジ、ほーもん講座、子ども防災教室等を実施し、市民の意識啓発を図った。	・より実践的な内容を取り入れた訓練・講習会等の実施による啓発を推進していく。 ・庁内各部署に対する訓練や講習などに取り組み、災害対応力の向上を図っていく。	
	60202010		5,227,855	1 防災局 防災対策課					
	15,542,645		2 石原 恭次						
	16,985,934		3 極めて高い						
	1,190,457		4 高い						
		15,795,477	5 普通	改善の効果	極めて高い				
24	防災・減災体制の充実	市の総合的な防災活動を効果的に推進するため、地域防災計画や国土強靱化地域計画等の着実な進捗を図る。 特に津波対策については、情報伝達・避難対策・災害復旧対策等に、より効果的な対策が図られるよう総合的な推進を図るとともに、国・県所管施設の整備については積極的に整備促進を図る。	28,590,714	事務事業評価		・大規模自然災害に対する災害対策の推進が必要であり、特に南海トラフ地震による津波については、「何としても命を守る」ことが最優先課題となっている。	・地域防災計画の修正、国土強靱化地域計画・津波防災地域づくり推進計画の改訂及び各計画等における進捗管理を実施。 ・防災・減災お役立ちガイドブックの更新を行うとともに、外国人向けに英語及び中国語版の防災マップを作成した。	・地震・津波災害、風水害等の大規模災害に対し、的確な状況把握と迅速な行動、初動から復旧・復興に関する一連の災害対策を的確に推進していく。 ・また、国のガイドライン等に基づき、特に南海トラフ地震に備えた取組を図る。	
	60202030		6,971,394	1 防災局 防災対策課					
	21,619,320		2 石原 恭次						
	24,984,803		3 極めて高い						
	5,460,229		4 極めて高い						
		19,524,574	5 高い	改善の効果	高い				
25	防災・減災体制の充実	台風、集中豪雨等による水害や土砂崩れに対応するため、防災用備蓄土のう及び防災資器材を整備し被害の軽減を図る。	2,371,127	事務事業評価		風水害等の災害時に備え、必要とされる資器材の確保を行う。	老朽化した防災備蓄土のうを更新し、必要数を確保するとともに、バレットに効率的に積載し、災害時に迅速に搬送できるようにしている。 防災用備蓄土のう確保 5,400袋	豪雨や台風等の災害に対応するため、必要とされる資器材の整備や備蓄資器材の確保を行う。	
	60202050		2,079,569	1 消防本部 消防課					
	291,558		2 浪崎 智彰						
	2,096,217		3 高い						
	1,890,936		4 高い						
		205,281	5 高い	改善の効果	高い				
26	防災・減災体制の充実	洪水、高潮又は津波による水害等の災害発生防止に努め、応急対策を行うために必要な資材の整備を図る。	3,736,788	事務事業評価		災害時の被害軽減及び迅速な対応ができるよう資機材の充実と適正な維持管理が必要である。	浸水等の被害軽減を図るために排水ポンプの操作訓練を実施し、災害時に迅速な対応ができるよう努めた。	各地で発生している豪雨等大規模な水害に備えるため、さらなる資機材の充実を図るとともに資機材の使用方法等の訓練を実施することにより、災害現場での迅速な対応及び被害の軽減に繋げる。	
	60203030		446,585	1 都市建設部 維持管理課					
	3,290,203		2 小谷 生典						
	3,148,253		3 極めて高い						
	605,488		4 高い						
		2,542,765	5 普通	改善の効果	高い				
27	防災・減災体制の充実	大規模災害時における市民の救助救出及び避難生活に対処するため、必要となる物品の備蓄及び防災備蓄倉庫の適切な維持管理を行う。	12,910,909	事務事業評価		・避難所の良好な生活環境の確保に向けた必要物品の備蓄及び拡充を図る必要がある。	・備蓄計画の作成により、物品の計画的な備蓄(購入・更新)につながった。 ・防災備蓄倉庫の適正な維持管理を行った。	・備蓄計画に基づいた物品の購入・更新を図る。 ・指定避難所への分散備蓄の推進を図る。 ・自主防災会、事業者、家庭における備蓄の促進を図る。	
	60203040		10,444,685	1 防災局 防災対策課					
	2,466,224		2 石原 恭次						
	27,332,593		3 極めて高い						
	20,470,536		4 高い						
		6,862,057	5 高い	改善の効果	高い				
28	防災・減災体制の充実	災害発生時に避難所や医療救護所等において活用する設備や避難誘導灯、防災広場、防災井戸、飲料水兼用耐震性貯水槽等の防災設備の適切な維持管理を行う。	2,241,619	事務事業評価		・災害用救急医療資材の更新を実施。 ・指定避難所に開設される医療救護所の医療救護体制の確保・充実が課題。	・災害用救急医療資材(EM-5)の更新を行った。 ・飲料水兼用耐震性貯水槽の点検を実施した。	・災害用救急医療資材の更新を行う。 ・耐震性貯水槽の適切な維持管理を行う。	
	60203050		2,147,931	1 防災局 防災対策課					
	93,688		2 石原 恭次						
	3,768,204		3 高い						
	3,613,157		4 高い						
		155,047	5 普通	改善の効果	普通				

No	施策名		R1決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和2年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和3年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード	事務事業の目的		内 直接事業費	1 担当部課名			
	事務事業名		R2決算額(円)	内 人件費	2 評価責任者氏名			
		内 直接事業費		3 妥当性評価	4 有効性評価			
			内 人件費	5 効率性評価				
29	防災・減災体制の充実	地震・津波・風水害等の災害情報や交通安全・防犯情報、その他市政全般に関する情報を、市民に対し迅速かつ的確に伝達するため、防災行政無線を始め各種防災情報通信機器の適切な管理運用を図る。	62,733,870	事務事業評価		・防災行政無線を始め、各種防災情報通信機器の維持管理を行っているが、無線機器等の老化が著しく、修繕等が難しくなっている。	・機器の保守点検を実施した。 ・故障機器の修繕・改修を行った。 ・機器更新に係る方向性の検討を行った。	・令和4年11月末のスプリアス規制への対応として、移動系無線機を更新する。 ・確実な情報伝達手段を確保するため、老化が進む同報系無線機の更新を図る。
	60203060		53,666,829	1 防災局 防災対策課				
	9,067,041		2 石原 恭次					
	46,324,699		3 極めて高い					
	38,150,016		4 極めて高い					
防災情報通信施設設備管理事業		8,174,683	5 普通			改善の効果	普通	
30	防災・減災体制の充実	南海トラフ地震による津波に備えるため、津波避難困難地域における避難対策として、一時避難場所(津波避難施設)を整備する。また、津波避難看板や海拔表示板の適切な維持管理を図る。	11,557,115	事務事業評価		・大規模自然災害に備え、津波避難困難地域における避難対策として、一時避難場所(津波避難施設)、避難看板、避難路、避難誘導灯、海拔標示板等を整備している。 ・小中山地区における一時避難場所(津波避難施設)の整備を行う。	・小中山地区津波避難施設の実設計(4か所)・整備工事(2か所)を実施した。 ※整備工事はR3繰越し ・津波避難看板の修繕(2か所)等	・小中山地区津波避難施設の整備(2か所)。 ・施設整備に併せて避難経路の再検討など地域協議の継続実施
	60203070		2,728,220	1 防災局 防災対策課				
	8,828,895		2 石原 恭次					
	114,702,703		3 極めて高い					
	107,628,430		4 極めて高い					
防災施設整備事業(60203070,60203074,60204010)		7,074,273	5 普通			改善の効果	高い	
31	防災・減災体制の充実	田原市耐震化促進計画に沿い、民間住宅等建築物の耐震化を推進することにより都市の防災性を高め、震災から市民の生命と財産を守る。	60,269,117	事務事業評価		耐震診断の戸別訪問等を行っているが、特に高齢者世帯の耐震改修が進んでいない。設計士、工務店等を対象に安価な工法の勉強会を開催し、耐震改修に関する技術の向上を図っている。今後はこの技術を改修工事に結びつける必要がある。	例年開催の耐震診断ローラー作戦や小学校への耐震出前講座を行ったが、ローラー作戦はコロナ禍の影響で範囲を縮小しての実施となった。	診断ローラー作戦、無料相談会、出前講座のほか、ダイレクトメールでの啓発活動を行う。 耐震化率向上のため、大学教授や愛知建築地震災害軽減システム研究協議会との連携により、地域ぐるみの防災街づくり講演会や大工等との設計・施工勉強会を開催するなど一層の耐震化啓発を行う。
	60204020		41,533,035	1 都市建設部 建築課				
	18,736,082		2 平井 堅一郎					
	46,644,847		3 極めて高い					
	32,957,685		4 高い					
建築物耐震化推進支援事業		13,687,162	5 高い			改善の効果	高い	